

# 巻 頭 言

2008 年は「近代製鉄発祥 150 周年記念」の年です。我が国で初めて近代的な洋式高炉が建設され鉄製造を開始してから一世紀半が経過しました。

「たたら」吹きに替わって、鉄鉱石を原料とし、連続プロセスで鉄を生産する「高炉」の出現は画期的な出来事でした。以来、安定した量・品質の溶鉄を下工程に供給することが製鉄所における製鉄工程の役割であることは、今も変わっていません。

修技術」以外の製鉄プロセス技術についてご紹介しております。

グループは、「常に最高の技術を持って社会に貢献する」という理念の下、地球環境対策、資源の有効利用などの技術開発に最大限の努力を怠らない所存でございます。皆様のよりいっそうのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。